

## シャープ(株)

製品種類: テレビ

機種名: 4T-C65HQ2

販売年度: 2025年



### 評価項目(アセスメント評価項目)

| 番号 | 取組項目                | 説明 |
|----|---------------------|----|
| 1  | 減量化・減容化             |    |
| 2  | 再生資源・再生部品の使用        | ✓  |
| 3  | 包装                  |    |
| 4  | 製造段階における環境負荷低減      |    |
| 5  | 輸送の容易化              |    |
| 6  | 使用段階における省エネ・省資源等    | ✓  |
| 7  | 長期使用の促進             |    |
| 8  | 収集・運搬の容易化           |    |
| 9  | 再資源化等の可能性の向上        |    |
| 10 | 手解体・分別処理の容易化        |    |
| 11 | 破碎・選別処理の容易化         |    |
| 12 | 環境保全性               |    |
| 13 | 安全性                 |    |
| 14 | 情報の提供               |    |
| 15 | LCA (ライフサイクルアセスメント) |    |

## 製品アセスメントの概要

65V型 4K 有機ELテレビ。

高まる節電意識と環境配慮へのニーズに応え、省エネ性能と高画質を両立させた家庭用テレビの開発に取り組んだ。映像に応じた発光量の緻密な制御や放熱構造の工夫により、消費電力を抑えつつ高精細で鮮やかな映像を実現。リモコンにも着目し、電池寿命の改善や筐体には再生プラスチックを採用。製品本体から周辺部材に至るまで、総合的な省エネルギー性と環境負荷の低減を実現した。

### 改善の具体的内容

[ ] 中の数字は関連する評価項目の番号です。

#### 1. 使用段階における省エネ・省資源等 [6]

高温で効率が低下してしまう有機ELパネルに対し、アルミ製プレートを用いた独自の放熱構造により発光に伴う熱を効率的に抑えるとともに、温度分布と映像信号を解析し、画素単位で発光量を緻密に制御することで消費電力を抑えつつ高画質を実現。

当社前年モデルとの年間消費電力量の比較

4T-C65GQ1>217kWh/年 →4T-C65HQ2>146kWh/年、約33%削減

【新規】

リモコンはBluetoothに対応。

テレビに向けなくても操作できる操作性の向上に加え、

電池寿命は従来比※ 約2倍にアップ。

電池交換の頻度が減り、利便性の向上と廃棄電池の削減にも貢献。

※当社2024年モデル(GQ1シリーズ)用リモコンとの比較

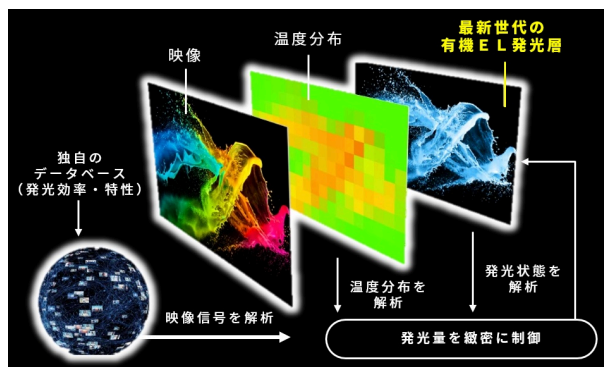
#### 2. 再生資源・再生部品の使用 [2]

再生プラスチック(PC+ABS)をテレビの筐体部品に積極的に採用し、使用率を拡大。リモコンの筐体にも再生材(ABS)を採用。

当社前年モデルとの再生プラスチック使用率の比較

4T-C65GQ1>1.8% →4T-C65HQ2>12.3%、約10%拡大

## 構造等の図



有機EL制御



リモコン寿命